

2025年冬の「全日本高等学校女子サッカー選手権大会」に出場した、兵庫代表の日ノ本学園高等学校イレブンの一員である中里美咲選手(杉戸中学校出身)をご存じでしょうか。今回、全国大会出場という一つの夢を叶えた中里選手へのインタビューを行いました。

サッカーを始めたきっかけは？
サッカーをやっていた兄に連れられ、初めてボールを蹴ってからは、サッカーにのめり込んでいきました。

兵庫県へ飛び出したきっかけは？
元Jリーガーの和多田監督という方がいらっしやって、非常に魅力を感じたことが一つと、練習に参加させていただいた際に、自分の雰囲気とチームの雰囲気が一番合うと感じたのが、日ノ本学園だったので、入学を決めました。

日ノ本学園高等学校
(取材当時(2026.3月): 高校3年生)

中里 美咲 選手

Nakazato Misaki
(杉戸町立杉戸中学校出身)

PROFILE
生年月日 2007年10月30日 (18歳)
出身校 杉戸小学校 → 杉戸中学校
→ 日ノ本学園高等学校
(現在、十文字学園女子大学へ進学)

サッカー歴 12年
身長 172cm
好きな言葉 (座右の銘)
チャレンジなきものに勝利なし



自己研鑽している点は？
ウエイトトレーニングは自分の中で大事にしている、高校のウエイトルームでも、サッカーに必要な筋肉を鍛えることを実践していました。これからは肩回りをもう少し鍛えたいと考えています。


一番嬉しかったことは？
大学まで大好きなサッカーを続けられることが自分の中で一番嬉しいです。十文字学園女子大学での練習に参加させていただき、大学でのサッカー生活に非常に魅力を感じ、また大好きなサッカーを続けられることがとても嬉しいです。

一番辛かったことは？
試合に出られない期間やケガでチームから離れてしまう期間はとても辛く感じまし

今までの印象に残っているプレーは？
高校3年生のインターハイの兵庫県予選と近畿予選が、自分の中で一番印象に残っています。

県予選はアディショナルタイム1分弱フリーキックからのこぼれ球を私が押し込み、1-0で勝利を掴み取りました。

また、近畿予選でも、インターハイ出場がかかった大一番の試合で、スコアは1-1コーナーキックからのこぼれ球を私が詰めて、得点を奪えました。全国への切符がかかった2試合とも、自分の決勝ゴールで勝利したという喜びでも、もの凄く印象に残っています。



今後の目標・展望・夢は？
女子プロサッカー(Wリーグ)選手になることが一番の目標です。

プロになるためには、声をかけていただくことやセレクトシジョン、練習参加、ユース組織からの昇格など、様々な方法があります。私が一番の近道だと考えているのはスカウトの目に留まることです。より目に留まりやすい強豪大学でアピールすることが大事だと考えています。進学する十文字学園女子大学も去年3人の選手にWリーグのクラブから声が掛かっており、進学を決める上での大きな要素となりました。

感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
一番は母親の存在が大きいです。サッカーをやらせてくれる環境に私を置いてくれました。高校進学も親元を離れ、遠い兵庫県に行きたいと伝えても、全く反対もせず送り出してくれました。大事な試合や大会には応援に駆けつけてくれました。

大学でもサッカーを続けたいと伝えたとくも、一番賛成してくれたのが母親でした。そういう部分ではものすごく感謝しています。

4月からは親元に戻ってきて、大学生となります。いつまでもこどものままでではなく、一人の大人としてなんでも自分でやっつけていかなければならないと考えています。これからは、いつも支えてくれ、応援してくれた両親に大学4年間を通して、自分のプレーやチームの結果で、絶対に恩返しをしたいと考えています。

次世代のことも達へ
私は小学校、中学校では全国に出られるような選手でもなく、またサッカーがとてもうまいという選手ではありませんでした。それでも、一つのことに対して一生懸命取り組み、自分の生活の中で、自分がなりたい選手になるためにどうするべきかを一つ一つ考えて行動することを実践し続け、一つ

たし、悔しい思いでいました。

今後の目標・展望・夢は？
女子プロサッカー(Wリーグ)選手になることが一番の目標です。

プロになるためには、声をかけていただくことやセレクトシジョン、練習参加、ユース組織からの昇格など、様々な方法があります。私が一番の近道だと考えているのはスカウトの目に留まることです。より目に留まりやすい強豪大学でアピールすることが大事だと考えています。進学する十文字学園女子大学も去年3人の選手にWリーグのクラブから声が掛かっており、進学を決める上での大きな要素となりました。

感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
一番は母親の存在が大きいです。サッカーをやらせてくれる環境に私を置いてくれました。高校進学も親元を離れ、遠い兵庫県に行きたいと伝えても、全く反対もせず送り出してくれました。大事な試合や大会には応援に駆けつけてくれました。

大学でもサッカーを続けたいと伝えたとくも、一番賛成してくれたのが母親でした。そういう部分ではものすごく感謝しています。

4月からは親元に戻ってきて、大学生となります。いつまでもこどものままでではなく、一人の大人としてなんでも自分でやっつけていかなければならないと考えています。これからは、いつも支えてくれ、応援してくれた両親に大学4年間を通して、自分のプレーやチームの結果で、絶対に恩返しをしたいと考えています。

▲輝く将来を信じて、町へ報告！



問合せ
社会教育課
スポーツ振興担当
内線493

インタビュー完全版はこちらから▲



5月1日(金)~14日(木) / 消費者月間特別企画
防ごう！最新の消費者トラブル

5月の消費者月間に合わせ、カルスタすぎと(大字大島)にてパネル展を開催しました。会場では町内の小学生が描いた消費者トラブル啓発ポスターや、(株)埼玉新聞社と共催で募集した消費生活川柳を展示。思わず納得してしまう作品を通じて、来場者は日々の暮らしに潜む「気づき」や「学び」を深めていました。

産業振興課



3月23日(月) / 杉戸高等学校協定締結
高校生と一緒に、魅力あるまちづくりへ

県立杉戸高等学校と、「総合的な探求の時間」とまちづくりに関する協定を締結しました。この協定では、高校生が地域に飛び出し、まちの課題を見つけ、解決策を考え、実際に行動する「リアルな学び」を、町と一緒に進めていきます。今後は、東武動物公園駅東口周辺エリアを舞台に、地域と学校が連携した活動を進めていきます。

市街地整備推進室




4月3日(金) / 「いまドキッ! 埼玉(いまたま)」4月18日(土)放送
八緒やどが紹介されました!


宿場町の面影を残す築100年の古民家をリノベーションした1日1組限定の一棟貸しの宿「八緒やど」(杉戸1丁目)が県政広報テレビ番組「いまドキッ! 埼玉」(4月18日(土)放送)で、紹介されました。

昨年12月に営業をスタートした宿泊施設で、非日常空間を楽しめる場所となっています。

市街地整備推進室



県ホームページで動画公開中!



特派員 レポート

広報紙に載っていないレポートはこちら▶

チャリティカラオケ歌謡祭
4月12日(日) / すぎとピア (大字堤根)

杉戸ロータリークラブによる、チャリティカラオケ歌謡祭が開催され、100名を超える多くの方々が歌声を披露しました。収益金は全額、杉戸町社会福祉協議会へ寄付されるそうです。

(広報特派員 荻原 千秋)



インスタとやらを、始めてみませんか?
4月21日(火) / おせっかいキッチン (杉戸3丁目)

皆さん、町公式インスタグラムはチェックしていますか? その中の「今日の役場メシ」というコーナーで紹介されていた「ひとつ屋根の下」にあるおせっかいキッチンに実際に食べに行ってみました!

日によって色々なお店が出店していますが、この日は「ひなた食堂」さんで日替わりランチをいただきました。肉も野菜も、全部おいしくて大満足! 幸せなランチタイムになりました。

これを機に、インスタ、はじめてみようかな... と思います!

(広報特派員 谷藤 恵美、染谷 美由紀)



インスタを見て... 実際には食べに行きました!